

2年かけ

給食センター移転改築

建設費 14億円

3月 定例会

子育て
支援

3月4日招集され、3月28日まで開催されました。
議案は、単行議案14件、補正予算7件および当初予算10件でした。
集中審議をおこない、すべて可決しました。
一般質問は、7議員が町政全般を問いただきました。

中学三年生まで

医療費が無料

予算の概要

予算の規模は、一般会計と特別会計などを合わせて、209億4926万円で、前年度当初予算に比べて1.9%減となりました。
一般会計は、総額133億5800万円で前年度に比べ7.8%増額となりました。特別会計の総額は、64億1829万円で前年度に比べ17.4%減少し、企業会計は、1.8%減少となりました。

なお、今年度から後期高齢者医療特別会計が創設され、当初予算額は2億4723万円が計上されました。

歳入

町民税は、納税義務者の増加、自動車関連企業等の好調維持で、90億810万円（前年度比16%増）が計上されました。また、給食センター移転改築などで、8億9000万円の借り入れとなりました。

歳出

普通建設事業として、給食センター移転改築、幸田小学校校舎増築工事、道の駅建設工事、道路新設改良事業（野場横落線ほか）子育て支援事業として、中学校3年生までの医療費無料化にともなう費用などが計上されました。

4月から
スタート

子どもたちが健やかに育つまちに



学校給食センターのイメージ図

●給食センターの
移転改築
11億円

（平成20・21年度で
計14億円）
旧菱池保育園跡地に建設
5000食／日
調理能力
来年9月開設予定

●幸田小学校増築

2億1000万円
2棟3階建・6教室
教室不足を解消

●道の駅建設

1億4331万円
国道23号岡崎バイパス桐
山地区内
地域振興施設（レストラ
ン・産直コーナーなど）

新しい事業をピックアップ

事業名	予算額
消防水槽付ポンプ車の更新費	4,348万円
AED21台設置※ (体育館等11台、保育園等10台)	970万円
不審者対策緊急メール配信	38万円
第2授産所用地購入費	2,800万円
(仮)子ども権利条例策定費	334万円
放課後子ども教室運営費	1,351万円
日本語指導教員の配置経費	174万円
高校生などへの奨学金支給	120万円
施設園芸農家への原油高騰対策支援	50万円
男女共同参画プラン策定費	500万円
新駅にかかる一部負担金	1,000万円

※AEDとは
心肺停止患者に電気ショックを与える救命処置機器
一般の人でも使えるようになった。



道の駅イメージ図

各会計の当初予算額と採決状況

(▲減)

会計区分		予算額	前年度比(%)	採決の状況
一般会計		133億5,800万円	7.8	反対2・賛成13で可決
特別会計	土地取得	4億9,011万円	8.8	全員賛成で可決
	国民健康保険	26億1,500万円	▲1.1	反対2・賛成13で可決
	老人保健	2億6,650万円	▲86.4	反対2・賛成13で可決
	後期高齢者医療	2億4,723万円	皆増	反対2・賛成13で可決
	介護保険	11億4,758万円	3.2	反対2・賛成13で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	2億7,381万円	8.7	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	3億7,258万円	1.4	反対2・賛成13で可決
	下水道事業	10億549万円	1.4	反対2・賛成13で可決
水道事業 会計	収益的支出	6億8,894万円	0.2	反対2・賛成13で可決
	資本的支出	4億8,402万円	▲4.3	
合計		209億4,926万円	▲1.9	

どう活かす

予算特別委員会

町税1.6%増 90億810万円

新年度予算審議から

平成20年度予算案は、予算特別委員会に付託され、2日間にわたり慎重審議の結果可決しました。

放課後子ども教室

はじまる

Q 放課後子ども教室の規模は。

A 荻谷小学校でモデル事業として実施。定員は30人だが、最大40人までを想定している。対象は1年生から6年生まで。

Q 指導員の体制は。

A コーディネーター（校長のOB）と指導員4人で運営する。

Q 手数料を3500円とした理由は。

A 児童クラブの手数料と同じにした。

Q 不審者対策の一つである緊急メール配信は、どういうものか。

A 6月から配信を実施する。学校↓登録された保護者へと連絡する。

Q 中学校の海外派遣は必要か。

A 現状でいく。視野を広げ裾野を広くできる取り組みを考えている。

消防の広域化

Q 県に対して「消防広域化に異存なし」と回答したのか。

A 大規模災害に対応するには、1自治体では極めて難しい。

最終調整で、幸田町は岡崎市との枠組みになった。

Q 広域化は、初動体制の遅れが懸念される。

A 通信指令で適切に対応するので問題はない。

Q 女性消防クラブの活動が見えないがどうなっているか。

A 消防団と連携し、AED研修、炊き出し訓練、ひとり暮らしの高齢者訪問など実施している。

Q もっと活用すべきではないか。

A 自主防災会との連携を検討する。

第2授産所用地購入

Q 第2授産所の場所、定員は。

A 現在の授産所となり20人〜30人規模の拡張を予定している。

Q 3人目からの保育料の無料化を。

A 恒常的な支出となる。慎重に検討していく。

Q 食育・地産地消の進め方は。

A 生産品目が少ないのでむずかしいが、食育基本計画に盛り込んでいく。

Q 40歳から74歳までを対象にした特定健診は、どのように実施するのか。

A 住民健診のなかで実施するが、来年度以降は保険者責任になっていく。



荻谷小学校ではじまった放課後子ども教室

徹底
検証

町民の要望を

133億5,800万円

75歳
以上

後期高齢者
医療制度

はじまる



桜の下でお花見会

Q 対象人数は。

A 2800人で、内8割が年金受給者である。

Q 新規制度である。取り組み内容は。

A 冊子配布により理解をいただく。

Q 冊子だけでは住民に分かるか。

A 親切的な対応をしたい。

Q 未納1年で資格証発行とするのか。

A なるべく発行しないようにしたい。支困難者には、軽減措置もある。事業主体が県広域連合であることを理解願いたい。

反対

伊藤宗次 議員

予算の概要と施政方針は「躍進・幸田」に示され、街づくりの礎は、開発優先を正当化するもの。

相見区画整理組合に毎年2億円補助は、組合幹部の自己決定をあいまいにする。

JR新駅40億円は住民合意もなく、突っ走りだ。子育て支援で、3人目から保育料無料に。妊婦健診を14回に拡大を。

税制に矛盾を持つ都市計画税の廃止。大企業に適正課税適用で、年3億円以上の財源確保を。

開発優先から、住民の暮らし第一に軸足を置く町政に転換を。

賛成

内田 等 議員

歳入では地方財政を取り巻く環境は不透明で厳しい状況であるが、新住民の定着や、企業の業績好調の持続を見込まれた積極的な予算を評価する。

歳出では幸田駅前再開発・新駅の誘致、道の駅

討論

に地域振興施設の建設、子ども医療費中学校卒業まで無料化、幸田小学校校舎増築、給食センター移転改築、環境、安全、健康福祉、産業、文化等バランス良くおりこまれ、住んで良かった町、住みたくなる町への思いが叶う予算であることを確信し賛成の立場を明確にする。

条例改正

3月議会では、地域安全ステーションの設置条例を含む14議案を審議し、可決しました。
主なものをお知らせします。



交通事故に気をつけて

地域安全 ステーションが 設置される

警察OBが常駐し安全で安心なまちづくりを推進する。
Q 業務時間、運営体制は
A 開業は午前9時から午後5時までとし、青色回転灯の白黒の車で全町内パトロールする。国民の祝日、土曜日、日曜日などは休業する。

Q 地域ボランティア団体との関わりは。
A 団体の相談を受ける。交通安全、防犯週間には一緒にパトロールする。
 (全員賛成で可決)

葬祭費が 5万円に

国民健康保険条例の改正で、葬祭費の支給を10万円から5万円に引き下げた。
Q 引き下げの理由は。
A 平成18年健康保険法の改正で、5万円になり多くの市町村は改正している。後期高齢者医療制度も5万円であり同じとした。

月に、10月分から3月分を10月に、年2回振り込む。
Q 審査委員の人選はどうするのか。
A 小中学校長、民生委員、高等学校長で6人を予定している。
 (全員賛成で可決)

後期高齢者 医療に関する 条例制定

後期高齢者医療の保険料は町が徴収する。
Q 普通徴収の保険料の納付期限を7月から2月の8期までとした理由は。
A 前年度の所得が6月に確定するため。
Q 65歳以上、74歳未満の障害者は選択制であるが、本人への説明は。
A 個別に案内をし、了解を得て、全員が申請書を提出していただいている。
 (反対2賛成13で可決)

待望の 深溝運動公園が できる



待ちに待った深溝運動公園



つばきの小道に植樹

高校在学中で経済的に就学が困難な者に、月額5000円を支給する。
Q 支給回数は何回か。
A 4月分から9月分を8

奨学金 月額5000円

わんぱく広場、ソフトボール場2面、散策道(つばきの小道)など、新設された。
Q 運動場の使用料は。

一面につき1000円。
Q ソフトボール場の利用開始は。
A 平成20年9月1日からで、予約は平成20年8月1日からできる。
 (全員賛成で可決)

審議された他の議案

- 幸田町職員の公益法人等への派遣に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員の育児休暇等に関する条例及び幸田町職員の給与に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 幸田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町介護保険条例の一部改正する条例の一部改正について
(反対2賛成13で可決)
- 幸田町手数料徴収条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 町道路線の認定及び廃止について
(全員賛成で可決)

平成19年度 最終補正予算 都市施設整備基金に 3億円積み立て

会計年度も終りに近づき、予算の追加や減額など一般会計、特別会計合わせて7議案が上程されました。

一般会計の歳入は、町税1億円、公共駐車場使用料270万円、諸収入1035万円、中央・深溝小学校、幸田中学校校舎地震補強事業の借り入れ3600万円の増額のほか、国・県支出金の増減がこなわれました。

歳出では、河川改修費90万円、防災施設費81万円、都市施設整備基金積立金3億円、財政調整基金積立金549万円の増額。児童福祉費6700万円はじめ各事業の減額など最終見込みによる調整がおこなわれ、特別会計への繰り入れ・繰り出しが主なものとなりました。

特別会計では、国民健康保険会計の保険給付費1億850万円などの増額。下水道事業会計の下水道事業費3870万円の減額などがおこなわれました。各会計とも予算の調整が主なものであり、いずれも原案どおり可決しました。

各会計別 3月補正予算額

(▲減)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		3,930万円	129億7,305万円
特別会計	土地取得特別会計	▲ 888万円	4億8,830万円
	国民健康保険特別会計	8,884万円	27億5,726万円
	老人保健特別会計	350万円	19億9,430万円
	介護保険特別会計	722万円	11億5,411万円
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	420万円	2億5,821万円
	下水道事業特別会計	▲ 3,870万円	9億5,264万円



着々と建設が進む須美工業団地